

1日目



▲ 歓迎会では寄居特産の“ふくれみかん”と“エキナセア茶”を全選手にプレゼント



▲ バレーボール指導者クリニックの3人の講師  
(左から森田淳悟監督、山下美弥子選手、廣紀江選手)



▲ 廣選手からスパイクの指導

2日目



▲ 開会式で整列するドリームチームの選手たち



▲ バレーボール教室でオーバーバスの説明をする  
ヨーコゼッターランド選手



▲ バレーボール教室でレシーブの指導をする山下選手



▲ フレンドリーマッチ ドリームチーム VS ビアンズ



▲ フレンドリーマッチ ドリームチーム VS マミーズ



▲ オープニングアクトに出演した寄居中学校吹奏楽部の皆さん

宝くじスポーツフェア

はつらつ

ママさんバレーボール大会開催!

特集



11月7日・8日に「宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボールinよりい」が、総合体育館・アタゴ記念館で開催され、憧れの選手たちによるバレーボール教室や町内3チームとのフレンドリーマッチなどが行われ、会場に集まったバレーボール関係者や大勢の観客を魅了しました。

このイベントは、日本バレーボール協会が推薦するオリンピックメダリストや世界選手権等に全日本チームのメンバーとして出場した経験のある12人の選手がドリームチームを編成し「バレーボール指導者クリニック」、「ふれあい懇親会」、「バレーボール教室」、「アトラクション」、「フレンドリーマッチ」などのプログラムを通して、健全な家庭の育成と宝くじの普及による明るい町づくりを目的として2日間にわたり開催されました。

1日目は「バレーボール指導者クリニック」と「歓迎会」が開催されました。指導者クリニックには、ドリームチームの森田淳悟監督、山下美弥子選手、廣紀江選手の3人を講師に迎え、日ごろバレーボールの監督やコーチとして活動している方々を対象に、効果的な練習法や質疑応答など、約2時間の指導を受けました。続いて行われた歓迎会は、ドリームチームの他のメンバーや、町内バレーボール関係者等が参加し、終始和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。

2日目は、午前中に「バレーボール教室」、午後からは「オープニングアクト」、「アトラクション」、「フレンドリーマッチ」などが開催されました。

バレーボール教室には、町内のママさんバレーボール選手約150人が参加し、ドリームチームの選手から、直接トスやレシーブ、スパイクなどのプレーについて、実技指導を受けました。

敢闘賞を受賞した小林さん



「テレビで見えていた選手と2日間過ごすことができ、また敢闘賞まで受賞できて幸いです。」

寄居中学校吹奏楽部によるオープニングアクトで幕を開けた午後は、ドリームチームと地元選抜チームとのフレンドリーマッチを楽しみにしていた約900人の観客で、会場は満員になりました。

2つのアトラクションゲームに会場は盛り上がり、続くフレンドリーマッチでは、会場の雰囲気は最高潮に達しました。

第1試合には「ビアンズ」、第2試合には「マミーズ」、第3試合には町内4チームの選手たちで構成された「YORII」が登場しました。各チームとも善戦しましたが、ドリームチームの高さと速さ、そして多彩なプレーには歯が立たず、3チームとも惜しくも敗れてしまいました。

閉会式では、フレンドリーマッチに出場した3チームの監督へのインタビューに続き、ドリームチームの河西昌枝チームリーダーから敢闘賞が発表され、ビアンズチームの小林和代選手が受賞しました。